

内装監理システム

各種申請をデジタル化

ららぽーと堺で運用

(株)スペース(東京都中央区)は、建設現場における内装監理業務を一元管理する「内装監理システム」を開発し、本格展開を開始した。建設現場での作業届や搬入車両など、これまで紙で行われていた各種申請をデジタル化、クラウド上で一元管理することにより、関係者間で円滑な情報共有が可能になるほか、生産性

向上やペーパーレス化などにも寄与する。今回開発した内装監理システムでは、一連の作業のデジタル化、申請書をクラウド上で一元管理することにより、現場作業員(申請者)と内装監理者(承認者)双方の業務スピードの加速、生産性向上などを可能にする。また、建設業界は慢性的な人手不足の状態である

ことから長時間労働を強いられている企業も多く、現状の業務の省力化などにもつながる。

内装監理システムは、①「現場作業員がスマートフォンから書類申請」、②「内装監理者がクラウドで申請状況を確認」、③「建設現場の情報配信」などを特徴とする。

①では、専用URLに登

録すれば単純な操作で同じシステムが利用できる仕組みで、デジタル機器操作が不慣れな人でも簡易的な操作を実現。現場作業員はスマートフォンから作業申請が可能で、申請状況がリアルタイムで確認できる。そのため、場所にとらわれずに作業申請ができ、申請作業時間の軽減につながる。

②では、申請書類がクラウド

で管理され、内装監理者はクラウド上で申請内容を確認。書類をデジタル化することで書類作成や押印の手間をなくすほか、紙の管理の必要がなくなるため、業務の効率化や紙の印刷、保管にかかるコスト削減が期待できる。

実際、同システムを11月8日に開業した「三井ショッピングセンター りらぽーと堺」で運用した結果、内装監理業務の作業届および搬入届、書類整理に要する時間が従来と比べて約7割削減でき、ペーパーレス化も約9割進んだ。

スペースでは、2023年以降に同システムを製品

化し、デベロッパーを中心とした関連会社へサービス提供を目指していく。

